



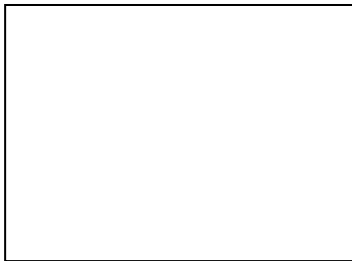
35. 妙法馬頭觀世音塔

現地の状況：交差点歩道脇の杉木立部分に祀られて見逃し
そうです。平石台に自然石塔

記載事項等： 建立年：33年（1900）

銘文：妙法馬頭觀世音

GPS：N35°19'10.1 E138°55'48.7



36. 馬頭觀音塔

現地の状況：道路沿い生垣の間に平石台に楕型の馬頭觀音が祀られている

記載事項等： 建立年：不明

大きさ：××cm

銘文：

GPS：N35°19'10.1 E138°55'48.7



37. 馬頭觀世音塔

現地の状況：市道交差点脇の裏面に1段の平石台に光背型の馬頭觀世音塔が祀られている

記載事項等： 建立年：不明

銘文：馬頭觀世音

戊戌十一月十七日

北久原村○次郎

GPS：N35°19'10.1 E138°55'48.7



38. 南無妙法蓮華經題目塔

現地の状況：サークル K 上の市道交差点脇

記載事項等： 大きさ：18×36×107cm

銘文：南無妙法蓮華經二千部供養塔

GPS：N35°19'10 E138°55'44.9



39. 馬頭觀世音塔

現地の状況：県道から田代宅へ向かうと左脇の縁石を台に
光背型自然石塔が祀られている

記載事項等： 建立年：明治元年（1868）

銘文：馬頭觀世音

GPS：N35°19'10.5 E138°55'44.1



40. 道祖神（双神）

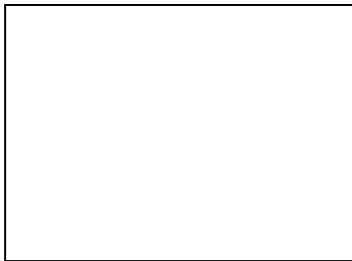
現地状況：道沿いの民家の塀上にあり見落としやすい。

コンクリ台に光背形自然石道祖神

記載事項等：建立年：不明

大きさ：57×26×16cm

GPS：N35°19'10.1 E138°55'45.4



41. 馬頭観世音大菩薩塔

現地状況：庭内に祀られおり道沿いからは見えにくい。

自然石型板碑

記載事項等：建立年：昭和14年（1939）

大きさ：54×36×8cm

銘文：馬頭観世音大菩薩

GPS：N35°18'56.9 E138°55'39.7



42. 祖師堂（北久原）

現地状況：地区の集会施設と祖師堂を兼ねている

県道0209号線沿いで市道1115号線との交差点東側

記載事項等：県道沿い北久原公民館前の左側に題目塔、供養塔、馬頭観音、石灯籠などが、また右前には本果院碑、題目塔、二宮金次郎像、石灯籠が集合している

GPS：N35°19'6.2 E138°55'51



43. 南無妙法蓮華経題目塔

現地状況：平台に駒型題目塔

記載事項等：建立年：天保5年（1834）

大きさ：31×59×153cm

銘文：南無妙法蓮華経一千部

GPS：N35°19'6.2 E138°55'51



44. 庚申供養塔

現地状況：コンクリ台に笠付型供養塔

記載事項等：建立年：享保9年（1724）

大きさ：44×48×121cm

GPS：N35°19'6.2 E138°55'51



45. 南無妙法蓮華經題目塔

現地の状況：2段平台に楕型題目塔

記載事項等：建立年：寛政9年（1797）

大きさ：25×33×84cm

銘文：南無妙法蓮華經二千部

GPS：N35°19'6.2 E138°55'51



46. 馬頭観音塔2塔

現地の状況：左側 平台に光背型馬頭観音塔

右側 平台に光背型馬頭観音塔

記載事項等：左側：馬頭観音

建立年：文化5年（1808）

大きさ：18×31×48cm

右側：馬頭観音

建立年：不明

大きさ：23×36×54cm

GPS：N35°19'6.2 E138°55'51



47. 本果院碑

現地の状況：角柱型石碑

記載事項等：本果院、大僧正日精謹書

GPS：N35°19'6.2 E138°55'51



48. 南無妙法蓮華經法界題目塔

現地の状況：コンクリ台に自然石型題目塔

記載事項等：建立年：享保9年（1724）

大きさ：70×67×106cm

銘文：南無妙法蓮華經法界

GPS：N35° 19'6.2 E138° 55'51



49. 南無妙法蓮華經題目塔

現地の状況：平台に自然石型題目塔

記載事項等：建立年：文政元年（1818）

大きさ：41×51×98cm

銘文：南無妙法蓮華經

本門八品十月廿五日

門流中興日朝聖人

GPS：N35°19'6.2 E138°55'51



50. 石灯籠

現地の状況： 7段灯籠

記載事項等： 建立年：大正 5 年（1916）

大きさ：55×52×36cm

銘文：常夜燈

GPS：N35°19'6.2 E138°55'51



51. テッペン・ダイコクヤ・バンバ

ネギジ・カジヤ・コーヤの家名^{モエナ}

現地の状況： 祖師堂から直ぐの交差点までは「商店など賑わいを見せていた」と紹介されて、今も家名で家がわかるという。

GPS：N35°19'10.6 E138°55'38.1



53.道祖神（2塔）

現地の状況： 市道 1115 号線沿い浅間神社東側付近（一画に 2 碑）

記載事項等： 左側道祖神（駒型）

建立年：不明、大きさ：17×30×44cm

右側道祖神（光背型双神）

建立年：不明、大きさ：32×42×61cm

GPS：N35°19'10.8 E138°55'37.1



54.浅間神社（北久原）

現地の状況： 市道 1115 号線沿い抜川の宮川橋手前に位置し、やや小高く、杉並木が参道を飾っている

記載事項等： 明治 37 年稲荷神社、山神社を合祀

昭和 5 年再建、昭和 50 年銅板に葺き替え

毎年 7 月 23 日の夜に湯立神楽を奉納

GPS：N35°19'3.7 E138°55'38.1



55.不動明王

現地の状況： 神社入口左側に 2 体並んで祀られている。

記載事項等： 左側：不動明王（光背型）

建立年：不明、大きさ：24×41×77cm

右側：不動明王（胴体部のみ）

建立年：不明、大きさ：16×24×53cm

GPS：N35°19'10.8 E138°55'37.1



57. 日待塔（日天月天供養塔）

現地の状況： 入口右脇に 3 段石台に笠付型供養塔が祀られている

記載事項等： 建立年：享保 9 年（1724）

大きさ：21×30×67cm

銘文：菩薩像

GPS：N35°19'6.2 E138°55'51



58. 六地藏

現地の状況： 境内通路右側の建屋内に 6 地藏が整然と祀られている

記載事項等： 建立年：昭和 62 年（1987）

大きさ：12×16×50cm

GPS：N35°18'57.3 E138°55'40



59. 庚申供養塔

現地の状況： 入口左脇に 1 段の加工石台に笠付型の供養塔が祀られている

記載事項等： 建立年：貞享 3 年（1686）

大きさ：31×32×91cm

銘文：○慈眼視象生福壽海無量

GPS：N35°18'57.3 E138°55'40



60. 力石

現地の状況： 境内の右手側 7 塔の後手に平組石を台に力石が置かれている。70～80 kg程には見え簡単には持ち上げられそうにない

記載事項等： 建立年：不明

大きさ：27.5×63×26cm

GPS：N35°18'57.5 E138°55'40.1



61. 南無阿弥陀佛名号塔

現地の状況： 北久原と仁杉との村境碑を表すようだ。地元精通者の調べでは百万遍念仏碑と記述されている

記載事項等： 建立年：不明

大きさ：7×41×81cm

銘文：南無阿弥陀佛

GPS：N35°19'12 E138°55'25.3



62. 名号塔から四面塔付近

現地の状況：この辺りは戦前まで杉並木が生い茂っていたようだ。またこの道は鎌倉往還と呼ばれ古くから相模から駿河を経て甲斐をつなぐ重要な街道のようです

記載事項等：現在は約6～7mの舗装路、県道0209号線

GPS：N35°19'12 E138°55'25.3



63. 四面塔

現地の状況：道と別れて旧登山道の入口に巨石組み台に道標や道祖神などが集合した四面塔がある

記載事項等：鎌倉往還と吉原街道の分岐点か

GPS：N35°19'13.5 E138°55'19.6



64. 道標（上部欠損）

現地の状況：左端に巨石組み台に直付けし箱形の道標は上部が欠損しているため文字も一部だけが残っている

記載事項等：右側・・・志り道
左側・・・んの道

GPS：N35°19'13.5 E138°55'19.6



65. 道標

現地の状況：左側の二つ目は加工石高台に箱型の道標がある

記載事項等：右側 右 須走村
中央 ○ 道
左側 左 印野村

GPS：N35°19'13.5 E138°55'19.6



66. 不明な自然石塔

現地の状況：道標と道祖神の間の後方に直付けの不明な自然石塔が置かれている

記載事項等：文字などは判読できなく不明

GPS：N35°19'13.5 E138°55'19.6



67. 道祖神

現地の状況： 右から二番目は平台に自然石で大下の道祖神がある

記載事項等： 道祖神
氏子中

GPS : N35°19'13.5 E138°55'19.6



68. 四面塔

現地の状況： 右端の塔の文字は多くが判読不能ですが、地元精通者が調べでは側面に道を案内している文字が刻まれているようだ

記載事項等： 右：「是より右ハすばしり道」
左：「是より左ハいんの道」

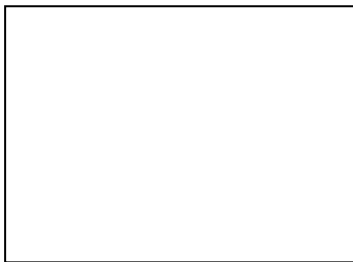
GPS : N35°19'13.5 E138°55'19.6



69. 富士山の姿

現地の状況： 県道脇から大きく見えはじめる富士山と田植え済みの水田が見える

GPS : N35°19'14.8 E138°55'18



70. 馬頭観世音塔

現地の状況： ブロック塀の一面にコンクリ台に自然石の馬頭観世音塔が祀られている

記載事項等： 建立年：昭和9年3月
銘文：馬頭観世音

GPS : N35°19'12.7 E138°55'17.1



71. 水田と富士山

現地の状況： 旧登山道沿いに田植え前の水田が広がり、富士山がほど良く見えるビューポイント。気持ち良く歩ける

GPS : N35°19'12.1 E138°55'15.3



72. 大下神社へ向かう登山道の様子

現地の状況：市道の分かれを民家の横を一路富士山が見える方に向かって歩いていく

GPS : N35°19'11.9 E138°55'12.5



73. 大下神社

現地の状況：四面塔から富士見橋の中間あたりで、この神社からも富士の姿が見え、登山の安全を祈ったようだ

記載事項等：大下神社は小高い山の上であり地元では「おどり宮」と呼ばれていた。昭和 31 年増田神社の社殿を譲り受け現在地に移築し大下神社と改称

GPS : N35°19'11.7 E138°55'3.4



74. 富士見橋

現地の状況：「大下神社を抜けると一瞬にして視界が開け、高く架けてある橋にでる」と記述のように、ここから雄大な富士の姿が臨める

記載事項等：橋の袂には馬頭観音塔と、道祖神が祀られている

GPS : N35°19'11.9 E138°55'9.1



75. 抜川の様子

現地の状況：抜川は幅 6m×深さ 3m 程で、富士山麓からを源とし、普段はきれいな清流をなしている。現在は上流部の工事などで多少流水は濁っている

GPS : N35°19'14.6 E138°54'59.1



76. 馬頭観音・道祖神

現地の状況：馬頭観音と道祖神は富士見橋の袂の竹やぶ前に祀られている

記載事項等：左側：馬頭観音塔（建立年等不明）
右側：道祖神（建立年等不明）

GPS : N35°19'11.9 E138°55'9.1



77. 富士の姿・長塚山

現地の状況：富士見橋に出ると一気に雄大な富士の姿が目
に飛び込んでくる。また左山裾をたどると、
こん盛りとした長塚山も見えてくる

記載事項等：長塚山は富士山の噴火のときに泥流が積もっ
たものようだ

GPS : N35°19'11.9 E138°55'3.9



78. 富士山と水田の風景

現地の状況：この辺りは富士の姿を正面に歩く登山道で、
途中からは水田が広がり写真撮影には絶好
のポジション。導者が歩いた旧登山道の看板
が見える

GPS : N35°19'15.9 E138°54'58.1



79. 大橋

現地の状況：ここは須走への国道が鮎沢川を越えまた北久
原からや仁杉への登山道の分岐。交差点の南
側は旧玉穂村役場の跡

記載事項等：国道に交差する仁杉への市道突当りに道祖
神・不明の塔が祀られている

GPS : N35°19'16.7 E138°54'57.6



80. 一本杉跡

現地の状況：大橋から国道上りを見ると、伝説が残る一本
杉跡の案内板の後ろには大きな自然石が目
印である

記載事項等：ふる里仁杉には、昔、樹高数十メートルの一
本杉の伝説のほか、地元には開田の際に掘り
出された根に「延寿杉」、「此は遠き神代の巨
木一本杉の古片にして・・・大正6年4月」
と当時の町長の筆書きして保存すと記述さ
れている

GPS : N35°19'14.9 E138°54'41.2



81. 国道から仁杉への分岐

現地の状況： 北久原から国道を渡り、仁杉へ向かう分岐点で、富士の姿見ながらなだらかな上りの登山道が続いていく

記載事項等： 交差点の橋の袂には道祖神 2 塔が置かれてる

GPS : N35°19'14.9 E138°54'41.2



82. 道標、道祖神 (2 塔)

現地の状況： 大橋歩道東側の竹木付近に駒型と自然石の二つの道祖神がある

記載事項等： 左側 建立年：道標 (溶岩石駒型)

大きさ：22×49×72cm

銘文：道祖神

右側 建立年：不明 (平台に自然石型)

大きさ：20×61×101cm

銘文：道祖神

GPS : N35°19'16.6 E138°54'43.6
